

令和6年11月7日

◎土森副委員長 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

執行部の方も、例えば不用額が大きいところだけとか、効率的な説明をお願いいたします。また委員の皆様も効率的に質問のほうよろしくをお願いいたします。

《観光振興スポーツ部》

◎土森副委員長 それでは次に観光振興スポーツ部について行います。

初めに部長の総括説明を求めます。なお、部長に対する質疑は、各課長に対する質疑と併せて行いたいと思いますので、御了承願います。

(総括説明)

◎土森副委員長 続いて所管課の説明を求めます。

〈観光政策課〉

◎土森副委員長 最初に観光政策課についてであります。

(執行部の説明)

◎土森副委員長 質疑を行います。

◎細木委員 二次交通の件でMY遊バスですけど、私、この名前をつけた者なので、どれぐらい乗っているかすごくよく見るんですね。結構立って乗られてる方がおるので、かなり増えているんじゃないかなと思うんですけど、乗車の状況とか、増便とかされてるのか教えてください。

◎中村観光政策課長 昨年度は、「らんまん」の放送と博覧会の開催がありましたので、通常の年度より増便しまして、平日を6便から9便に、土日祝日を9便から12便に増便いたしました。その結果、12万4,000人以上の方に乗車いただいております。

◎細木委員 せっかく来られてずっと立ちっ放しは大変なので、適宜増便対応をしていたきたいと思います。

それと、四万十町とかのシェアサイクルの補助事業は、この課ではないですか。

◎中村観光政策課長 地域観光課の地域の補助金の中で実施している場合もありますし、市町村が独自で実施してる場合もございます。

◎細木委員 今日の追加の資料に、地域観光振興交付金で、四万十町がシェアサイクルをやられているのがあるんですが。

◎中村観光政策課長 それは地域観光課でお願いいたします。

◎竹内委員 2点お伺いをしたいと思います。観光客動向調査委託料に関して結果を分析されて、どういったことが見えてきたのかについて、今後の課題も明らかになったんだろうと思うわけでございます。そしてもう1点、らんまん効果があって高知県の経済にも大変なぎわいが出たことでございますけれども、一方で県下のに広がりができなかった反省点もあろうと思います。その点を踏まえて「らんまん」の経験をいかに「あんぱん」に

生かしていくのかについてお伺いをしたいと思いますので、よろしくお願いします。

◎中村観光政策課長 観光客動向調査では、どこから来たのかであるとか、日帰り宿泊の割合であるとか、年代、男女別を調査しております。その中で今年度進めておりますどっぷり高知旅キャンペーンの中で宿泊を増やしていくことが、地域経済のために貢献できることが分かりましたので、日帰りと宿泊の割合を少し宿泊のほうに伸ばしていくところをウオッチしていくのにも、この動向調査を使っていきたいと考えております。

2つ目の御質問ですけれども、「らんまん」に続いて、幸運にも「あんぱん」が来ました。今回はどっぷり高知旅キャンペーンと併せて「あんぱん」の取組を実施します。まずは「あんぱん」でたくさん来ていただいた観光客の方に、どっぷりと中山間地域を中心とした商品であるとか、宿泊施設をしっかりと見せていくことで県内各地への周遊を促してまいりたいと考えております。

◎竹内委員 ぜひともあんぱん効果で、高知県下全域が潤うような施策をお願いしたいと思えます。

◎土森副委員長 質疑を終わります。

以上で、観光政策課を終わります。

〈国際観光課〉

◎土森副委員長 次に国際観光課について行います。

(執行部の説明)

◎土森副委員長 質疑を行います。

◎細木委員 歳出決算における委託料調のところ、株式会社とさごころにかなり随意契約(プロポーザル)で委託されているんですけど、ここしかないのか、競争性がどうなのかと思ったんですけど、どうなんでしょうか。

◎山本国際観光課長 委託料につきましては、プロポーザル方式で実施しておりまして、2者、3者、多いものは5者とか6者参加されているんですけども、評価によりまして、株式会社とさごころが取っているものが多くあった状況にはあります。

◎細木委員 結果的にプロポーザルで、いい提案をしたからだと思えますけれど、どんなところがいいのか、特徴を教えてください。

◎山本国際観光課長 株式会社とさごころ自体は、もともと株式会社やまごころが高知に設立した会社なんですけれども、外国人観光客の動向とか、現状をたくさん知っていること、なおかつ高知県の事業者なので、高知県の地域の状況なんかも、すごく詳しく御存じなことがポイントとして評価されているところです。

◎細木委員 よく仮に事業所を置いてというところもありますけれど、株式会社とさごころは高知の企業で、事業税も高知へ入ってきゆうということで、よろしいですか。

◎山本国際観光課長 高知で起業されている企業です。

◎下村委員 海外からの観光客の方にW i - F i ルーターの貸出しも行うと、前回の決算特別委員会の意見に対する措置の中でもお話が出ていましたけれど、S I Mカードを入れてくるとか、時代とともにもうルーターを必要としないほうに動いていってると思うんです。今実際ルーターを借りる方が多いのかどうか、そこら辺どんな現状でしょうか。

◎山本国際観光課長 下村委員がおっしゃったとおり、ほとんどの方がもうS I Mカードを使われておりまして、W i - F i を借りる方はすごく減ってきております。昨年の実績も年間で52件の貸出しなんですけれど、今年も現時点で二十数件になっておりまして、ニーズとして、ルーターの貸出しはどんどん減ってきているのかなと思っているところです。中山間なんかに行かれたりする方にニーズがあるぐらいになってます。

◎下村委員 技術とともに、こういうものってどんどん動いていきますんで、これからもタイムリーな措置をお願いしたいと思います。

◎西森（美）委員 先ほどの観光政策課とも連動すると思うんですけれど、観光振興部の歳入の所管別決算の金額を見ましたら、部として635万7,690円の寄附金がありまして、観光政策課と国際観光課でそれぞれ使われていると思います。これは、おそらくこうちふるさと寄附金ではないかなと思うんです。この用途については、自然、歴史、食の観光基盤を生かした取組とか、よさこいの振興などに活用しますとありますので、それに沿って使っていただいていると思うんです。この決算の説明資料の中には寄附金で10万5,197円が計上されているんですけれど、こうちふるさと寄附金なので寄附をしていただいた方への報告として、どう使ったかは大事であると思いますので、そのあたりを教えていただいてもいいでしょうか。

◎山本国際観光課長 国際観光課で受入れしました10万円余りにつきましては、海外へのよさこいの派遣に活用させていただいております。

◎西森（美）委員 よさこいチーム海外派遣委託料に、その他としてあるこれが丸々寄附金ですか。

◎山本国際観光課長 はい。

◎西森（美）委員 この委託料は当初の予算としては2,056万円を計上され、決算額が当初予算と比較して執行率は半分ぐらいなんです。当初はもう少しいろんな委託先を考えられていたのではないかなと推測するところですが。

◎山本国際観光課長 この当初予算を要求した時点では、海外への旅行代がかなり高騰していたこともありまして、実際、入札して減額になったので、補正させていただいたところなんです。

◎中村観光政策課長 観光政策課の寄附金の620万円余りにつきましては、企業版のふるさと納税で民間の企業から人材を派遣していただいております、それに対する人件費などの寄附でございます。

◎西森（美）委員 よさこいとは別の目的で使われているのですか。

◎中村観光政策課長 博覧会の推進に充当させていただいております。

◎西森（美）委員 それは寄附者の方にも御理解をいただいて、感謝の言葉と一緒に報告もされていると思いますが。

◎中村観光政策課長 そのとおりでございます。

◎細木委員 よさこい祭支援事業費補助金です。県民の方から県は一つもよさこいを応援しやせんき、もっと力を入れてくれって言われたことが何回かあるんです。演舞場の運営とか人とかお金のことで、すごく困られている商店街がたくさん出てきている中で、経済波及効果からいって、この980万円が妥当かどうかよう分かりませんが、こういう支援についてはどんなでしょうね。

◎山本国際観光課長 適切な金額がどれぐらいかという議論はあるかとは思いますが、現時点では980万円の予算が適切ではないかと考えて執行しているところです。

◎岡田（芳）委員 外国人観光客動向調査委託料で、動向やからどういう中身が分かりません。あと、外国人のお遍路さんが結構歩いているんですよ。私も何度か道を尋ねられたことがありますけれど、これも一つアピールすることもできると思うし、外国人のお遍路さんにより丁寧に対応できることも大事じゃないかなと思っているんです。その点この動向調査とお遍路さんへの対応はどんなにされているんですか。

◎山本国際観光課長 動向調査は、宿泊施設とゲストハウスで採りましたところ、ゲストハウスでは一定お遍路さんのアンケート結果もございまして、宿泊の期間も長くなりますし、県としてもお遍路さんの受入れもしっかりやっていきたいと考えておりますので、情報の提供とか、案内、そういう部分をしっかりやっていきたいと考えているところです。

◎岡田（芳）委員 長期滞在にもなりますので、たくさんおいでいただければと思うし、ぜひこういう文化、歴史を、四国として取り上げてアピールしていただけたらと思いますので、よろしくお願いします。

◎西森（美）委員 部全体のことにともなりますけれど、当初予算から補正などをされた最終予算で、観光振興部は繰越しがほかの部局に比べて少ないなと思っているので、年度内にしっかり執行ができるように努力されているのと、進捗管理をしっかりしてくださっているのかなと思ったりします。今のところ2つの課ですけれど、不用額が大体3.7%になっているので、そのあたりは事業の内容を、拝見させていただいて進捗管理をしてくださっているんだろうと推測します。その中で、特には問題はないんですけれど、事務費で少し不用が目立つんです。事務費に関しては委託料、報酬、貸付金とか、そんなものを除いたものは全部事務費に掲載する決算のルールがあると思うので、ここにはある意味、臨時みたいな形の雇用も含めた人件費も入っているのではないかなと思うんですけれど、この3つの事業の事務費に関して不用の大まかな傾向を教えてくださいいいでしょうか。

◎山本国際観光課長 事務費の不用につきましては、国際観光推進事業費は、242万2,740円のうち多くが旅費になっておりまして、200万円近く不用になっております。この分につきましては台湾とか韓国のチャーター誘致の関係で、何回も訪問する予定で金額を残しておいたんですけれども、想定よりも回数が少なかったため不用になっているものです。よさこいプロモーション事業費につきましても、190万円ぐらいのうち100万円ちょっとが旅費になっておりまして、台湾のランタンフェスティバルなんかによさこいで行っているんですけれども、そういった旅費が予定より要らなかったので残っているものです。外国人観光客受入事業費につきましては、100万円ぐらいの不用があるんですけれども、こちらも旅費とか、使用料などの不用が二、三十万円ずつ積み重なったんですけれども、例えばWi-Fiの貸出しなんかは想定より少なかったものです。

◎西森（美）委員 観光振興部なので大体が海外への渡航に係る旅費の不用ということで理解しました。

◎土森副委員長 質疑を終わります。

以上で、国際観光課を終わります。

〈地域観光課〉

◎土森副委員長 次に地域観光課について行います。

（執行部の説明）

◎土森副委員長 質疑を行います。

◎細木委員 地域観光振興交付金のことなんですけど、1点、キャンプ、アウトドアの拠点で、スノーピークとかコールマンなんかは、県内いろいろと参入されているんですけれども、キャンプ、アウトドアの需要であるとか、特にスノーピークはグランピングなのかな。そういう需要状況であるとか、あと地域経済への波及の点で、こんな効果があるよっていうのがあれば教えてください。

◎仙頭地域観光課長 特に過去に大型のアウトドア関連キャンプ場の整備を進めてまいりました。スノーピークとかモンベルとかは大手のノウハウを生かされまして、開業初年度以降、一定目標水準に達するような運営ができています。特にコロナ禍の期間におきましては、そういう屋外型の観光が非常に人気でしたので、一定、高水準で推移してきたんですけれども、コロナ禍以降は、多様なレジャーへの関心の分散などもございまして、若干、キャンプとかアウトドア系が減少している状況でございます。それぞれ受入れられた市町村と観光協会などが連携しまして、例えば越知町ですと、過去には商店街をめぐるスタンプラリーとかで、できるだけその地域にお金を落とす工夫をされております。我々もそういった取組をこれまでも後押ししてまいりましたし、今後もサポートしていきたいと考えています。

◎細木委員 この間越知の商店街を見て、中山間には結構元気な町だなと思ったので、

ぜひスノーピークとの連携なんかもして、商店街の活性化が出来たらなと感じたので質問させてもらいました。

もう1点、四万十町のシェアサイクル事業です。御存じのように高知市のシェアサイクルは9月に利用停止になって利用料金の一部が入らない、連絡もつかない状況になって、自転車も撤去されているんですけど、四万十町の場合は、順調に事業はされているんでしょうか。

◎仙頭地域観光課長 表の地域観光振興交付金のナンバー4、四万十町。この事業につきましては、残念ながら令和4年度限りの1年間で終了いたしました。もともと、ステップアップ事業という形で、実証的な取組をサポートするメニューで実施されたものです。具体的に言いますと四万十町役場に4台、大正駅に2台、十川駅に2台で、ドコモのシステムを入れて、アプリで解錠して自由に乘っていただけるような仕組みを採用されたんですけども、利用者自体が目標の300人に対して180人程度で、一旦、検討を取りやめることにされました。通常、窪川にあります観光協会の窓口で、有人対応のレンタサイクルの貸出しなんかもしています。実際そちらのほうの利用が結構多かったこともありまして、現状はそちらの運用を継続されております。

◎土森副委員長 質疑を終わります。

以上で、地域観光課を終わります。

〈スポーツ課〉

◎土森副委員長 次にスポーツ課について行います。

(執行部の説明)

◎土森副委員長 質疑を行います。

◎細木委員 子供のスポーツ推進のところですけど、先ほどの話でいうたら子供がスポーツを始めるきっかけづくりとか、地域移行の支援とのことで、何となくソフトの事業なのかなと思ったんですけど、どのような事業内容だったのか、ハードなんかはなかったのか、事業の概要の説明をお願いします。

◎三谷スポーツ振興監兼スポーツ課長 市町村に対する補助金でございまして、それぞれの市町村が子供のスポーツ環境に続けられる環境がないとか、子供がスポーツを始められるきっかけが少ない実態がございまして、そうしたところを捉えて体験会でありますとか、継続して続ける環境をつくるための年間を通したクラブの運営とかに活用いただいているソフト事業でございまして。

◎細木委員 あまりイメージがわかないので、もうちょっと具体的に教えていただけたら。

◎三谷スポーツ振興監兼スポーツ課長 例えば該当の市町村で、小学生のスポーツの活動の中に、地域でバドミントンの活動拠点が無い状況があったときに、そのニーズをしっかりと捉えた上で、ニーズがあるにもかかわらず、そうした体験をする機会がない、場所がな

いところに、まずは、体験会を提供することとか、中学校にはバドミントンの部活動があるけれども小学校にはないところなどに、小学生が年間を通して活動できるサークルを、1年間、お試して活動していくといったことに御活用いただいている状況でございます。

◎細木委員 当初予算からいうたら不用額が多く出ているので、どうしたらこれを活用できるか、今年度予算では、同じような事業があると思うんですけど、何か改善されていますか。

◎三谷スポーツ振興監兼スポーツ課長 それぞれの市町村、様々な課題がございますので、市町村ごとにヒアリングであったり、相談の機会を数多く設けることと、県内6ブロックに分けて、広域で課題を共有して課題対策に取り組むことなども行っております。そうした機会をとらえて、他の市町村、他のブロックの好事例などをしっかりと情報提供いたしまして、ノウハウも含めて参考にしていただくことなどで、次のステップへ進んでいただくことを工夫しております。また、地域のニーズをとらえるときに、市町村単独ではニーズの把握もかなり負担がございますので、県でニーズ調査をした上で、そうした情報を市町村に提供していくことなどで、具体的な活動に生かしていただく工夫をして取り組んでいるところでございます。

◎細木委員 クラブの地域移行を全部もろ手を挙げて賛成するわけではないですけど、中山間地域の子供が少ないところのスポーツ権をどう保障していくかという点では、すごく大事な事業だと思います。商工会議所がスポーツの地域移行の関与をしていたりと全国でも、いろんな事例があると思うんです。ベースボール5、そういう少人数でできるスポーツとか、ニュースポーツもいろいろあるので、子供がいろんなスポーツをできる素地をつくっていただくためには、この事業をフルに活用していただきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

◎西森（美）委員 4ページです。委託料のところ、スポーツ施設等情報システムの保守と改修の委託料があって、改修をした目的がスポーツ情報総合ポータルサイトと県立スポーツ施設等情報システムの2つのサイトが併走していたところを1つに統合されて、いろんな意味で効果的な事業にするための取組であったかと思います。統合した効果はどんなふうに見られていますか。

◎三谷スポーツ振興監兼スポーツ課長 委員のおっしゃるとおり、これまで施設を予約するサイトであった「こうちでスポーツ！」と、サークルを探すとか、イベントを探すサイトの「こうちスポーツNAV I」の2つが併走する形で行っておいりましたので、効果的に運用するために統合いたしまして、それぞれの情報が同じサイトで見えることでサイトの活用、スポーツへの参加が増えていく、そういう狙いもあって1つにまとめました。ただ、令和5年末に統合いたしましたけれども、現状、昨年度と同時期のサイトの閲覧数を見ますと若干数字が落ちております。「こうちスポーツNAV I」のサイトを見るときに、旧の

「こうちでスポーツ！」の情報が常に画面上に出てくるような工夫はしており、一定利便性は上がっている部分あると思うんですけども、結果的に今、サイトの閲覧数が前年度並み、または若干落ちている状況にあることを捉えて、今後サイトを活用していただく団体などにさらにPRをしていく必要があると捉えております。

◎西森（美）委員 令和5年の末に両方ともこういうふうになりますよとお知らせをしていただいて、令和6年の6月までの間は自動で転送されていたことが6月以降はなくなって、迷われている方がいらっしゃるのではないかとのお話だったと思います。利便性は間違いなく上がっているののでしっかり周知をしていただいて、今まで閲覧されていた方の御不便がないようにしていただきたいことと、2つ併走をしていたものが統合されるということは、保守料、ランニングコストが圧縮されるというかなくなると思うので、そのコスト面での効果は今後どういうふうに出てくるんですか。

◎三谷スポーツ振興監兼スポーツ課長 保守料につきまして今細かい数字を持ち合わせておりませんが、これまで2つ併走していた形ですので、1つに統合することによって、ランニングコストは削減されるものだと捉えております。

◎西森（美）委員 利便性を上げながらスクラップアンドビルドで、しっかり予算も確保、財源を確保するための取組をしてくださっているものだと思いますので、コスト面のメリットもしっかり精査していただくことが大事だと思います。ほかのところでも同じようなサイトとか、アプリが併走している場合もあるので、そこに対してデジタル化を推進するときに大事な資産になるのではないかなとも思いますので、よろしくをお願いします。

◎下村委員 宿毛市総合運動公園の陸上競技場の関係です。私は幡多の議員として予算も入れていただいて本当にありがたいなど。第3種の公認が取れる方向で動いていただいていると思うんですが、今回のこの決算額で追加の費用とかは全部クリアできたと考えてよろしかったでしょうか。

◎三谷スポーツ振興監兼スポーツ課長 宿毛市の陸上競技場の整備は、11月の下旬に第3種の検定を行うことが決まっております、順調に進んでおります。今後の経費につきましては、幡多6市町村とお約束をさせていただいたように、第3種の公認に係るランニングコストは、継続して補助をさせていただくことで進めているところでございます。

◎下村委員 県の取組によってこうやって続いていけることができ本当に皆さん喜んでいると思います。

◎土森副委員長 西森委員、さっきの統合のランニングコストについて、数字はいいですか。

◎西森（美）委員 後で数字を示していただけたらありがたいです。

◎土森副委員長 それでは質疑を終わります。

以上で、スポーツ課を終わります。

〈スポーツツーリズム課〉

◎土森副委員長 次にスポーツツーリズム課について行います。

(執行部の説明)

◎土森副委員長 質疑を行います。

◎下村委員 観光振興推進事業費の関係で、昨年度、それこそ私の地元の黒潮町で起こったスポーツ合宿支援事業助成金の不正受給の問題です。あれは自分たちも地域でアマスポーツを誘致しながら、地域おこしをやってる人たちにしてみれば何か冷や水を浴びせられたような、とても頑張ってやってる人たちに何となくよこしまな目で見られるというか、非常に自分たちも残念な思いをしたわけなんですけれど、その後、どういう形で今進んでいるのか、ぜひ教えていただきたいです。

◎谷内スポーツツーリズム課長 今回9件の不正受給がございました。5月20日に相手方から不正受給と認定しました1,135万3,000円が全額、公益財団法人高知県観光コンベンション協会に返還がされました。

◎下村委員 今回ののは、ああいうふうには不正をされるとなかなか見つけれられないようなことだったんですけど、観光コンベンション協会はよく見つけてくれて、逆に言えば、きちんと申請にのっとってやるべきこと、もしも予算が足りないのであれば、もっと別の方法できちんと要求もしながら改革もしないといけなかったことなんです。そこら辺がああいうふうにはねじ曲がった形で進んだのは自分としても本当に残念でならない感じです。返還がなされたのであれば、また次に向かって新たな気持ちで頑張って、これを契機に後退するんじゃなくて、ぜひ後押しをしていただいて、今後ともアマチュアスポーツもプロスポーツもそうなんですけれど、さらに進むようお願いしたいと思います。

◎細木委員 先ほどのお話で、全額返還がされたことは、すごくよかったと思うんですけど、それでこの問題は全部終わったということではよろしいでしょうか。

◎谷内スポーツツーリズム課長 今年の2月21日に、観光コンベンション協会から高知警察署に主犯者のA者1人の告訴状を提出しております。現在、警察から、その後の状況についてはまだ連絡がない状況でございますので、引き続き警察で捜査をしているものと認識しております。

◎細木委員 そしたらまだ完全決着ではないと思うんですけど、スポーツツーリズムの代表的ない事業だと思います。高知の自然環境でスポーツに親しんでもらうことは非常に大事なので、先ほど下村委員が言われたみたいに、今後再発防止もしながらしっかり活用した呼び込みをよろしく願います。

◎桑鶴委員 今年も龍馬マラソンが開催されるということで、先日、高知新聞で参加人数が足りていないとありました。以前、参加人数が足りなくて赤字になるような状況があったと思うんですけども、今回はそういう状況にならないと思っているんですが、どんな

感じなんですか。

◎谷内スポーツツーリズム課長 今回は赤字になる予定はございません。現在、フルマラソンに9,726名のエントリーをいただいております。定員が1万人でございますので、参加募集を11月15日まで延長しております。恐らく1万人になると思いますので、収支予算としまして、赤字になるようなことはないと考えております。

◎桑鶴委員 ぜひこのマラソンを通じて観光振興にもつながっていただければと思っておりますので、頑張ってくださいと思います。

◎土森副委員長 質疑を終わります。

以上で、スポーツツーリズム課を終わります。

これで、観光振興スポーツ部を終わります。

以上をもって、本日予定していた日程は全て終了いたしました。

次回は11月11日月曜日に開催し、危機管理部、土木部の決算審査を行います。開会時刻は午前10時といたします。

これで、本日の委員会を閉会いたします。

(16時17分閉会)